



▲「気持ちいい」絵の具まみれで夢中の子どもたち

共同募金を使った事業として、美山保健センターで行われた「絵をかく会」に、生後7カ月から小学生の子どもと保護者66人が参加（南丹市社会福祉協議会主催）。児童美術教育研究家の高森俊さんが「子どもの意志を尊重し、手出し口出しせず自由に」と助言。筆を持って紙に絵を描き始めた子どもたちは、そのうち手足や顔にまで塗って大喜び。その後、絵から読み取れる子どもの精神状態について、高森さんによる個別子育て相談や講演会が行われました。

## 「好奇心のまま、自由にのびのびと」

（8/10）子育て講演会&絵をかく会「子どもの絵はこころ」

健康で豊かな体力づくりを目的に園部公園スポーツ広場で開催された老人クラブ連合会のゲートボール大会。各町から選出された28チーム176人が熱戦を繰り上げました。「スポーツ大会や研修会などを通して、会員同士の親睦はもとより地域とのかかわりを大切に活動しています。老人が元気だと地域も元気になりますよ」と話す松本<sup>さくら</sup>会長。最高気温33.9度を観測したこの日、会員の皆さんは元気いっぱいに汗を流されていました。



▲炎天下での真剣勝負！

## 「暑さに負けず、元気はつらつ！」

7/14 第4回南丹市老人クラブ連合会ゲートボール大会

## 「『なんで？』不思議が面白い！」



▲科学の不思議に好奇心いっぱい

身近な物を使って子どもたちに科学の不思議と面白さを知ってもらおうと、夏休みを利用した教室を日吉町生涯学習センターで開催。参加した市内の小学1年から5年生17人は、紫外線で色が変わる名刺作りや浮き沈みする魚の工作、ペットボトルの顕微鏡でタマネギの細胞を観察したり、最後にはホールで風船ロケットを飛ばしたりしました。講師の十倉健さんも感心されるほど科学に興味のある子どもも多く、それぞれ自分の手の中で生まれる科学の不思議に目を輝かせていました。

（8/8）夏休み！おもしろ理科実験・物づくり教室

## 「糸引く手応えに、心躍る夏の思い出」

（8/8）ひよこ2009わくわくキッズ「ザリガニつり」

スプリングスひよし主催の「ザリガニつり」が同施設内の自然観察池で行われ、市内外から家族連れが参加。スタッフの指導を受け、スルメをつけた竹ざおを池に垂らし始めた途端、「わぁ！つれたー」「お父さん、外して！」「逃げられたあ」とあちこちで上がる歓声。「昔、川でよく釣ったんやで」と親の方が夢中になる姿もありました。この日のチャンピオンは1時間で36匹釣り上げた長岡京市の藤本さん一家。参加者は釣ったザリガニを2匹ずつ持ち帰り、あとは池に戻されました。



▲子どもも大人も水中に潜む赤い姿に夢中